

八重山地方石垣島川平方言の名詞と形容詞

荻野千砂子（福岡教育大学）

1 はじめに

川平集落は、石垣市北部にある小さな集落である。石垣市 HP の「統計いしがき（令和元年度第 42 号）」によると、行政区域としての川平地区は、川平、大嵩、仲筋、吉原の四集落からなるが、その中で川平集落の人口は 666 人である。集落自体は小さいが、集落内にある川平公園は石垣市でも有名な景勝地であり、また、集落の近くに外資系の大型リゾートホテルがあるため、国内だけでなく海外からの観光客も多い。風光明媚な土地であることから、本土からの移住者も多く、現在、日常的に川平方言を話せる話者は少なく、80 代の数人程度しかいないのではないかとされている。

昨年度以来、新型コロナウイルスの流行により、これまでの調査協力者に会うことができなくなった。そこで、談話の書き起こしを協力して下さっていた宮良政順氏（昭和 30 年生、男性）に新しい話者を紹介していただくことになったが、長引く新型コロナウイルス流行の影響で一度も会うことができていない。そのため、今年度は途中で計画を変更し、宮良政順氏に、可能な範囲で川平方言の文を作成していただき、後日、80 代の話者に確認をすることとした。80 代話者と異なる点があれば、改めて記述をすることとする。今回の調査は、対面調査と Zoom を用いた調査の両方を併用している。調査期間は、令和 3 年 10 月末から 12 月末までである。

短い調査期間ではあったが、今後、詳細な調査をすべきであろうと考える点が複数見つかった。川平方言は石垣四箇方言と似ていると言われているが、形態素による意味の弁別が、石垣四箇方言より細分化されているのではないと思われる現象がある。例えば、話し手に関わるか、話し手以外に関わるかで、(1) や (2) のように形態素が異なる。石垣四箇方言では、(1) の「ヌメー」のみが複数を表す接辞として見られる。また、話し手の独り言か、聞き手に伝えるかで形態素が変わることもある。これは、モダリティに関わる問題ではないかと考えている。形容詞の調査では、同じ語の語幹で、長音と促音が交替する場合があり、話者の内省を元にするとテンスが関係しているのではないかと推測している。いずれも今後、80 代の話者に確認し、明らかにすべき課題である。

- (1) ファーヌメー 子供達（身内の子供達という感じがする）
- (2) ファーヌヘー 子供達（よその子供達という感じがする）

2 音声・音韻・音節一覧

80 代話者では、音韻的区別がある[e:]と中舌母音の[ɛ:]は、明確に区別されていない。また、中舌母音の[i]は、特に[si]と[su]、[zi]と[zu]で揺れることが多い。今回は、話者が「中舌だ」と判断した音節は、中舌母音で表記することにした。今後、音韻的な区別があるかどうかを確かめることとする。また、母音の無声化も揺れが見られ、音韻的な分析ができていない。無声化した母音には、母音の後に*印を付すことにした。これも、時に話者の判

断を優先し、「かすれる音だ」と判断したものに、無声化の*印を付すことにした。音節一覧は、今年度の調査で確認できている音節であり、今後、増える可能性がある（表1）。

（表1）音節一覧（60代話者で現在までに確認できているもの）

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|----|--|-----|--|----|--|----|-----|
| ア | | イ | | ウ | | エ | | オ | |
| a | | i | | u | | e | | o | |
| カ | クイ | キ | | ク | | ケ | | コ | キュ |
| ka | ki | ki | | ku | | ke | | ko | kju |
| サ | スイ | | | ス | | セ | | ソ | シヤ |
| sa | si | | | su | | se | | so | ei |
| | | | | | | | | | eu |
| | | | | | | | | | ee |
| | | | | | | | | | eo |
| タ | | テイ | | トゥ | | テ | | ト | チャ |
| ta | | ti | | tu | | te | | to | tei |
| | | | | | | | | | teu |
| | | | | | | | | | tee |
| | | | | | | | | | teo |
| ツア | ツイ | | | ツ | | | | | |
| tsa | tsi | | | tsu | | | | | |
| ナ | | ニ | | ヌ | | ネ | | ノ | ニヤ |
| na | | ni | | nu | | ne | | no | nja |
| ハ | | ヒ | | | | ヘ | | ホ | |
| ha | | hi | | | | he | | ho | ヒョ |
| | | | | | | | | | hjo |
| ファ | | フィ | | フ | | | | フォ | |
| fa | | fi | | fu | | | | fo | |
| マ | | ミ | | ム | | メ | | モ | |
| ma | | mi | | mu | | me | | mo | |
| ヤ | | | | ユ | | | | ヨ | |
| ja | | | | ju | | | | jo | |
| ラ | ルイ | リ | | ル | | レ | | ロ | リヤ |
| ra | ri | ri | | ru | | re | | ro | rja |
| ワ | | | | | | | | | |
| wa | | | | | | | | | |
| ガ | | | | グ | | ゲ | | ゴ | |
| ga | | | | gu | | ge | | go | |
| ザ | ズイ | ジ | | ズ | | ゼ | | ゾ | ジャ |
| za | zi | zi | | zu | | ze | | zo | zja |
| | | | | | | | | | zju |
| | | | | | | | | | zjo |
| ダ | | デイ | | ドウ | | デ | | ド | |
| da | | di | | du | | de | | do | |
| バ | | ビ | | ブ | | ベ | | ボ | |
| ba | | bi | | bu | | be | | bo | |
| パ | パイ | ピ | | プ | | | | ポ | 子音 |
| pa | pi | pi | | pu | | | | po | Q |
| | | | | | | | | | 母音 |
| | | | | | | | | | R |
| | | | | | | | | | ン |
| | | | | | | | | | N |

3 敬語

石垣四箇方言には見られない敬語の用法がある。聞き手が上位者だと、聞き手を高めるために、本動詞や補助動詞を尊敬語化する。その折は、主語を高める機能がなくなるのではないかと考えている。次の(3)は、「こんなに早くバスが来たの?」と聞かれたときに、(3a)は聞き手が友人の場合、(3b)は聞き手が先輩の場合にする返事である。「バスが来たよ」の主語はバスであるが、(3b)では、オールン(いらっしゃる)を用いる。直訳すると、「バスがいらっしゃる」となるが、主語のバスを高めているわけではなく、聞き手の先輩を高く位置づけている。補助動詞にも同様の機能があり、(4)のようになる。(4b)は直訳すると「喧嘩なさった」となるが、主語の次郎を高めているわけではない。このような敬語の用法があるため、調査をするときには、聞き手が上位者か同等者かを、あらかじめ指定しておく必要がある。

(3) (こんなに早くバスが来たの?) 「うん。(バスが) 来たよ」

a: バス キタユ。(聞き手が友人)

b: バス オーッタユ。(聞き手が先輩)

(4) 次郎は弟の三郎と喧嘩した。

a: ジラーヤ フトゥドゥヌ サンダートゥ アイ スイタ。(聞き手が友人)

b: ジラーヤ フトゥドゥヌ サンダートゥ アイ オーッタ。(聞き手が先輩)

4 名詞形態論資料

本事業共通の名詞形態論調査票を用いて調査した結果が(資料1)である。用例は、(表1)の音節一覧に記載したカタカナ表記を用いて記述する。また、川平方言文において、話者があってもなくてもよいとした語は、()に入れて示し、複数の言い方がある場合は、{A/B}のように示した。先に述べたように、*印は、無声化を表す。原則として調査票を直訳してもらったが、話者が言いにくいと述べた場合は、共通語文を若干変更している。(資料1)の結果をもとに、格助詞の形式をまとめたものが(表2)である。

(資料1)

| | 共通語文 | 川平方言文 |
|---|-------------------------|---|
| 1 | おばさん。太郎、いる? | オバー。タロー ウル? |
| 2 | ううん、太郎は いないよ。 | アーイ。タローヤ ウランサ。 |
| 3 | どこに 行ったの? | ズマヘ パッタ? |
| 4 | 太郎は、朝から 畑に 芋を 掘りに いている。 | タラヤ ストゥムディハラ パタギヘー ハ *ッコン (ユ) プリ {二/ナ} パリ ウル。 |

| | | |
|----|----------------------------------|---|
| 5 | いつ 帰ってくるの？ | ナンツキ ムドゥローリヤ？（聞き手上位者）/ナンツキ ムドゥリヤ？（聞き手同等者） |
| 6 | 昼ごはんの 前には 帰ってくる。 | プイ*ローマ ン*ポン マディニヤ ムドゥロールン。 |
| 7 | 時間が あるなら お茶でも 飲まない？ | ジカン ハ*タラ チャーツァーン ヌマヌ？ |
| 8 | ううん、11時までに 家に 戻らなくては いけない。 | アーイ。ジューチジマディニヤ ヤーヘムドゥラナー ナラヌ。 |
| 9 | 昼ごはんの あとで もう一度 来るね。 | プイ*ローマ ン*ポンヌ ハトゥー マタメーイッカイ クンドー。 |
| 10 | 私は 今日は 忙しいから、だれか 役場に 行ってくれないかなあ？ | バナ キューヤ パンタサー ヤリキー タルカ ヤクバヘ パリ フーヌカヤー。 |
| 11 | 役場へは 私たち 二人で 行ってもいいよ。 | ヤクバヘヤ パー フターリ パリ ミシヤンダラ。 |
| 12 | 車が 無いから バスカ タクシーで 行こう。 | クルマ ネーンキ バスカ タクシーサーニパラ。 |
| 13 | 小銭が 無かったので、紙幣を 硬貨に 替えて もらった。 | クージンヌ ネーンキ カ*ピジンユ クージンヘ コーカンシ ヒョーッタ。（先輩にしてもらったとき）/コーカン シミダ。 |
| 14 | あ、バス、来たよ。 | アイ。バス（ヌ） キタドー。 |
| 15 | えっ、こんなに 早く バスが来たの？ | ヤー。オー パイシャ バス キタ メー。 |
| 16 | うん。 もう 来たんだよ。 | オー。キタユー。（聞き手同等者）/オー。バス オーッタユー。（聞き手上位者） |
| 17 | さあ、あの バスに 乗ろう。 | アシタラメー、ウヌ バスヘ ヌラ。 |
| 18 | わたしの 鍬 その辺に ある？ | バー カニパー ウマヌ マールヘ アン？ |
| 19 | どこを さがしても 鍬が 無いんだよ。 | ドウマー トウ*ミバン カニパーヤ ネーンサー。 |
| 20 | あった。あった。ここに あったよ。 | ハ*タ。ハ*タ。クマナ ハ*ッタサ。 |
| 21 | どれが おまえの 鎌だ？ | ドウリドウ ワー ガクィ？ |

| | | |
|----|-----------------------------------|---|
| 22 | その 柄の 短い 鎌が 私の だ。 | ウヌ イーヌ ン*ツカサ ガクィ ドウ バー ムヌ。 |
| 23 | この 柄の 長い 鎌は 三郎の か？ | {ウヌ/クヌ} イーヌ ナーサル ガクィヤ サンダー ムヌ？ |
| 24 | ううん、それは 弟の 鎌じゃな い。 | アーイ。{クレー/ウレー} バー フトウドウ ヌ ガクィ アラヌー。 |
| 25 | この 鎌は 三郎の 鎌じゃない のか？ | クヌ ガクィヤ サンダーヌ ガクィ アラ ヌー？ |
| 26 | うん、それは 弟の 鎌じゃな い。 | アーイ。ウレ フトウドウヌ ガクィ アラ ヌー。 |
| 27 | じゃあ、この 鎌は 誰のだ？ | アスタラ クヌ ガクィヤ ター ムンリャ ー。 |
| 28 | それは おじいさんの 鎌かもし れない。 | ウレー アッチャー ガクィユーン ワカラ ンダラ。 |
| 29 | 太郎は あした 那覇へ 友だち に 会いに いくらしい。 | タローヤ ハ*ツツァ ナハへ ドウスィへ アイヘー パルゴーサダラ。 |
| 30 | ここから 那覇までの 船賃は いくらの？ | クマハラ ナハマディヌ フナチンヤ ヒコ ーベーリャ。 |
| 31 | 往復で 五千円ぐらいだろう。 | オーフクサーニ ゴセンエンバガリィサ。 |
| 32 | 沖縄には 飛行機で 行くより 船で 行った ほうが 安いね。 | {フ*キナーヘーヤ ヒコーキサーニ パル イガ フニサーリ パッソー ヤッサ ツク ソー/ヒコーキイガ フニドウ ヤッサ ツ ク}。 |
| 33 | でも、船は 一日に 一回しか ないよ。 | アッスンガ フニヤ イチニチニ イッカイ シカ ネーンソー。 |
| 34 | 港なら こっちの 道が 近道 だ。 | {サンバシヘーヤ/サンバシヘ パッソー} クマヌ ミツインドウ ツィカサ (ン) ダ ラ。 |
| 35 | 車が 来るから、道の まんなか を あるいては いけない。 | クルマヌ キーキー、ミツイヌ マンナカ (ヤ) {アルカンダラ/アルクィナヨー}。 |
| 36 | 港で 甥の 五郎に 会った。 | サンバシディ ブイヌ ゴローへ ハ*ッ タ。 |
| 37 | 那覇からの 船に 乗って来たん だって。 | ナハハラ フニサーニ クィタトゥー。 |
| 38 | 五郎は 日曜日まで 島に い て、月曜日に 帰るそうだよ。 | ゴローヤ ニチヨーマディヤ スィマナ ウ リティ ゲツヨービヤ マタ パットー。 |

| | | |
|----|-----------------------------------|--|
| 39 | たしか お宅の お孫さん 小学生だったよね。 | タスイカー ピサ マーヤ ショーガクセー ハタサ? |
| 40 | うん、去年から 小学校に 通っている。 | ンー。クツツイハラ ショーガッコヘ パリ ウル。 |
| 41 | 孫は 目と 口が 私に よく似ている。 | マーヤ ミートウ フツイドゥ バヌヘ ニ ーシャダル。 |
| 42 | ここは 海に ちかいので 魚が うまい。 | クマヤ イナー {へ/ナ} ツイカサ ヤリキ ー イズイヤ {マーサン/マッサンダラ}。 |
| 43 | 一郎は 朝から 海へ 魚を とりに いった。 | イチローヤ ストゥムディ パイシャハラ イナーヘ イズイ トイリ {ナ/へ} パッ タ。 |
| 44 | おまえは この 魚の 名まえを知っているか? | {ワヤ/ワーヤ} クヌ イズイヌ ナー ワ カルン? |
| 45 | これは カツオだろう? | クレー カツサ。 |
| 46 | うん、 そうだよ。 カツオだよ。 | オー。アシー。カツダラ。 |
| 47 | 肉より 魚の ほうが おいしい。 | ニクイガ イズイドゥ マーサン。 |
| 48 | 私は タコの さしみが 食べた い。 | バナー タクヌ サシミンドゥ フォーチャ ル。 |
| 49 | 刺身も おいしいけど、 焼いた 魚も おいしいよ。 | サシミン マーサンスンガ ヤキ イズイン マーサンダラ。 |
| 50 | 酒は どうやって つくるか お まえは 知っているだろう? | グシヤ ノーシディリ ツクルンディ ワヤ ワカルンサ。 |
| 51 | うん。酒は 米から つくるんだ よ。 | オー。グシヤ マイハラドゥ ツクルンダ ラ。 |
| 52 | 私は 酒さえ あれば 他には なにも いらぬ。 | バナヤ グシタンガ ハ*タラ ノーン イ ラヌ。 |
| 53 | 二郎は 酒も 飲まないし、たば こも 吸わない。 | ジラーヤ グシン ヌマヌ タバクン フカ ヌ。 |
| 54 | 雨の ふる 日には 太郎は 家 で テレビばかり 見ている。 | アーミン フル バシュー タラーヤ ヤー ナ テレビタンガ ミール。 |
| 55 | おれは さつまいもなんか 食べ ないぞ。 | バナ ハ*ツコンダー ファーヌ。 |
| 56 | 食べて ねるだけなら いぬや ねこと おなじだ。 | ファイティ ヌフィタンガ シー フタラー インヤ マヤートウ ヌヌ ムヌ。 |

| | | |
|----|-------------------------------|---|
| 57 | たまには お父さんの 手伝いぐらい しろ。 | ピトゥケンナ オトーヌ ティガナ シー。 |
| 58 | 太郎、この 荷物を 家まで かついで 行ってくれ。 | タラー ク*ヌ ニー ヤーマディ カタミ {ヒーレー/ムチ パリ/ムチ パリ ヒリ}。 |
| 59 | 荷物が 重いので、 二郎と 二人で もっても いいか？ | ニーヤ ヌッサン ヤリキー ジラートゥ フタリサーニ ムチ パリ ミシャーン？ |
| 60 | いとこの 花子は 英語の 本が 読める。 | シチフヌ ハナコヤ アメリカヌ クトゥバン ワカルンダラ。エイゴヌ ホン ユムンダラ。 |
| 61 | 私は 花子に 英語を 教えてもらった。 | バヌヤ ハナコニ エイゴユ ナローダ。 |
| 62 | 去年 花子が 中学の 先生になった。 | クツツ ハナコヤ チューガクヌ シンシーヘ ナッタ。 |
| 63 | 二郎は 小遣いの ことで おとうとの 三郎と けんかした。 | ジラーヤ コズカイヌ クトゥサーニドゥ フトゥドゥヌ サンダートゥ アイ オーツタ。(聞き手上位者) /アイ スィタ。(聞き手同等者) |
| 64 | 三郎は 二郎に げんこつで 頭を なぐられた。 | サンダーヤ ジローハラ コーシャサーニ ツップル バラリダ。 |
| 65 | 二郎と 三郎は 喧嘩の ことで じいさんに しかられた。 | ジラートゥ サンダーヤ アイオーツタ クトゥサーニ フシュマイ {へ/ハラ} イザリダ。 |
| 66 | その 話は 妻にだけ 聞かせた。 | ウヌ パナスィヤ トゥ*ツイタンガ スィカスィタ。 |
| 67 | あ、雨(が) ふってきた。 | アイ。アーミンドゥ フィ クィ*タ。 |
| 68 | やねの 上に いとこの 布団が ほしてあったよ。 | ヤーヌ ウイナ シチフヌ ウ*ツ=ドゥ プサリ フタ(ダラ)。 |
| 69 | あーあ、布団が 雨に 濡れて びしょびしょだ。 | アガヤー。 ウ*ツヤ メー アーミサーニ ソートー ズッフィネーンバヤー。 |
| 70 | きのうは 風が 強かったねえ。 | キ*ノーヤ カジヌ ツーサ ハタソヨー。 |
| 71 | あれ、部屋の 中に 枯葉が 入っているよ。 | アビ。ヤーン ナカナ キーヌ パーンドゥ イリツソ。 |
| 72 | あの 開いた 窓から 入ったにちがいない。 | ウマヌ ハキル マドゥハラ イッタ パツィ*ダラ。 |

| | | |
|----|-------------------------------------|---|
| 73 | ほら、真っ白な 鳥が 空を 飛んでいるよ。 | ウリ、ツスサ トウルインドウ ティンユ {トウビッターラ/トビ ウッターラ}。 |
| 74 | あの 羽の 白い、くちばしの 長い 鳥は なんだろう。 | ウヌ パニヌ ツスサヌ フツイヌ ナーサル トウルイヤ ノーリヤ。 |
| 75 | あの 鳥は シラサギかもしれないね。 | シラサギ：不明 NA |
| 76 | 北海道 広かったねえ。 | ホッカイドー マイシャーソーヨー。 |
| 77 | うん。食べ物も おいしかったねえ。 | オー。 ファイムノー マーサッタ {ソヨー/ソーヨー}。 |
| 78 | 北海道には クマが いるそうだね？ | ホッカイドーナーヤ クマン {ウルンディダラ/ウンディダラ}。 |
| 79 | うん。シカも フクロウも いるらしいよ。 | ンー。シカン ツクグルン ウルンディダラ。 |
| 80 | 北海道には めずらしい 菓子が たくさん あった。 | ホッカイドーナーヤ {ミーヌヌ/ミーメン} カスイヌ タカーニ ハッタ。 |
| 81 | この お菓子は いくらで 買ったの？ | クヌ カスイヤ ヒコーベサーニ コーダ？ |
| 82 | この お菓子は 北海道で 二千円で 買った。 | クヌ カスイヤ ホッカイドーナ ニシェンエンサーニ コーダ。 |
| 83 | おみやげは おばあさんから 先に 上げた。 | ツイトウヤ アツパハラ アギダ。 |
| 84 | ばあさんのと おなじ おみやげを 花子にも かってやった。 | アツパートウ ヌヌ ツイトウユ ハナコヘン カイ ヒーダ。 |
| 85 | 孫たちに あげる つもりで 菓子を 買って あった。 | {マーヌヘー/マーヌメー} ヘ アギルンディカスイユ カイ チコーツタ。 |
| 86 | お菓子は 箱の 中に いくつ があると おもう？ | カスイヤ パクヌ ナカナ ヒコーベアー アルンディ ウモールン？ |
| 87 | やっつぐらい じゃないかな。 | ヤーツイ バガルイッカヤ。 |
| 88 | 四つしか 残っていないよ。 | ユーツイシカ スクリ ウラヌダラ。 |
| 89 | 台所に 行ったら お母さんが スイカを 切ってあった。 | トーラヘ パッターラ オツカンドウ スイカユ キ*シ ハッタ。 |
| 90 | (包丁があるのをみて) この 包丁で 切ったんだ。(切ったに違いない) | クヌ ポーザサーニ キッタ パ*ツイ。 |

| | | |
|-----|--|---|
| 91 | おまえ、かごは どうやって 作るか 分かるか？ | ワヤー バーキヤ ノーシンドウ ツクルンディ バガル？ |
| 92 | 小刀で 竹を 削って つくると おもう。 | クガタナサーニ タキユ キズリ ツクルンディ ウモール。 |
| 93 | 稲刈りの ときには 子どもにまで 手伝わせる。 | マイカルイヌ バシユヤ ファーヌメーマディ ティガナ サショール。 |
| 94 | 花子は きのうから 病気で ねている。 | ハナコヤ クイ*ヌハラ ヤミティ ニビドゥ ウル。 |
| 95 | 花子は かあさんに ごはんを たべさせて もらった。 | ハナコヤ オッカーハラ ン*ポンユ ファーシ ヒョーッタ。 |
| 96 | 花子は お粥しか 食べられなかった。 | ハナコヤ カイタンガドゥ ホーダ。 |
| 97 | 医者が くれた くすりを のめば なおるだろう。 | ヒシヤヌ ヒーダ フシュルイユ ヌミバ ノールンサー。 |
| 98 | 病気を 治すには たくさん 食べて、 十分 寝なければならない。 | ヤンユ ノースンディ ウムイヤ タカーニ ファイティ ユー ヌ*ファ*ンタラ ナラヌ。 |
| 99 | そこには 女しか 入れない。 | ウマヤ ミ*ットウンシカ イララヌ。 |
| 100 | 男なら 赤ちゃんでも 絶対に 中には 入れない。 | ビギドゥン ハ*タラ ハナマツァン ゼツタイ ナカヘヤ イララヌ。 |
| 101 | 教えてもらわなければ なかに 入っていた。入っていたにちがいない。(実際には、入らなかった) | スイカサンタラ ナカヘ {イリ フ*タ/イリ フタ パ*ツイドー}。 |
| 102 | 石と 石の 間から 水が 湧いている。 | ヒシトウ ヒシヌ アイダハラ ミツイ*ドゥ バギ ウル。 |
| 103 | この 水、沸かした 水より 美味しいよ。 | クヌ ミツイ*ヤ バガシタ ミツイ*イガ {ウマ ムンドー/マッサンドー}。 |
| 104 | ほら、ひとくち 飲んでみて。 | ホイ。ピトウフツ ヌミ ミリ。 |
| 105 | 花子も お菓子が 好きかもしれない。 | ハナコン カスイ {ユ/ドゥ} スキ パ*ツイドー。 |
| 106 | 和子と 花子は 友だちだ。 | カズコトウ ハナコヤ ドウスイ。 |
| 107 | (タバコの吸い殻をみて) 先生はここに 居たんだ。 | シンシーヤ クマナドゥ フタ。 |

| | | |
|-----|----------------------------------|--|
| 108 | 人は 生きる ために 働かなければならない。 | ピトゥヤ ヒキルンディ パタラカンタラ ナラス。 |
| 109 | 食べやすい ように お母さんが 団子を 串から 外して あつた。 | ファイ ヤッサスニ オッカーンドウ ダン ゴユ ボーハラ パンツァシ チコーッタ。 |
| 110 | おとななのに 卵焼きさえ 作れないのか？ | フーピトゥヌ フシナ トゥナガヤキツァン {ツクララヌ/ツクリブサン ナラス} ? |
| 111 | いつも お母さんに つくっても らっていたから 何も 作れない。 | ヒツン オッカーヘ ツクラシ ヒョーリキ ー、ノーン ツクララヌ。 |
| 112 | まだ 一度も 作ったことが ない。 | メーダ イツカイツァン ツクッタ クトゥ ネーヌ。 |
| 113 | 私でさえ 持てないのに、 おまえには 持てないよ | バヌンツァン ムタランムヌ ワーヘーン ムタラス。 |
| 114 | 友だちとの 約束は 守らなければ ならない。 | ドゥスイトゥヌ ヤクソクヤ マモランタラ ナラス。 |
| 115 | あの 人こそ 金持ちだ。 | ウヌ ピトゥドゥ ジン ムチャー。 |

(表 2) 川平方言の格助詞の形式と用例

| | 格 | 形式 | 共通語 | 用例：()で共通語訳を示す |
|---|-------|----------|-----|---------------------------------------|
| ① | 主格 1 | ヌ | が | クージン <u>ヌ</u> ネーンキ (小銭がないから) |
| ② | 主格 2 | φ | が | ジカン <u>φ</u> ハタラ (時間があつたら) |
| ③ | 属格 1 | ヌ | の | プイ*ローマ <u>ン*ポンヌ</u> ハトゥー (昼ご飯のあと) |
| ④ | 属格 2 | φ | の | バー <u>φ</u> カニパー (私の鍬) |
| ⑤ | 対格 1 | ユ | を | カ*ピジン <u>ユ</u> クージンへ (紙幣を硬貨へ) |
| ⑥ | 対格 2 | φ | を | ツッブル <u>φ</u> バラリダ (頭をたたかれた) |
| ⑦ | 対格 3 | バ | を | ムン <u>バ</u> (物を) |
| ⑧ | 与格 1 | へ | に | マーヌメー <u>へ</u> アギルンディ (孫にあげるつもりで) |
| ⑨ | 与格 2 | ニ | に | ハナコ <u>ニ</u> エイゴユ ナローダ (花子に英語を習った) |
| ⑩ | 受身動作主 | へ/ ハラ | に | フシュマイ { <u>へ/ハラ</u> } イザリダ (爺さんに叱られた) |
| ⑪ | 場所格 1 | ナ | に | クマ <u>ナ</u> ハ*ッタサ (ここにあつた) |
| ⑫ | 場所格 2 | へ | に | ウマヌ マール <u>へ</u> アン (その辺にある) |
| ⑬ | 場所格 3 | ディ | で | サンバシ <u>ディ</u> (栈橋で) |
| ⑭ | 向格 | へ | へ | ヤクバ <u>へ</u> ヤ (役場へは) |
| ⑮ | 向き合う格 | へ | に | ゴロー <u>へ</u> ハ*ッタ (五郎にあつた) |

| | | | | |
|---|------|-----|----|--------------------------------|
| ⑯ | 奪格 | ハラ | から | スツムディ <u>ハラ</u> (朝から) |
| ⑰ | 具格 | サーニ | で | タクシー <u>サーニ</u> パラ (タクシーで行こう) |
| ⑱ | 共格 | トゥ | と | フトウドゥヌ サンダー <u>トゥ</u> (弟の三郎と) |
| ⑲ | 比較格 | イガ | より | ヒコーキサーニ <u>パルイガ</u> (飛行機で行くより) |
| ⑳ | 限界格 | マディ | まで | ジューチジ <u>マディ</u> ニヤー (11時までには) |
| ㉑ | はだか格 | φ | φ | タロー <u>φ</u> ウル? (太郎、いる?) |

4 形容詞資料

本事業共通の形容詞活用査票を用いて調査した結果が(資料2)である。また、形容詞語彙調査票の調査は、途中(48番)までとなっている(資料3)。

(資料2)

| | | |
|----|--------------------------|---|
| 1 | 豚肉と山羊肉は、どっちがおいしいの? | {オーヌ/シシ} ニクトゥ ピビジャヌニクヤ ドウリドゥ マッサル? |
| 2 | 山羊肉より豚肉がおいしい。 | ピビジャ ニクイガ オーヌニクドゥ マッサン。 |
| 3 | 沖縄の豚肉はおいしいの? | フキナーヌ オーヌ ニクヤ マッサン? |
| 4 | うん、おいしくて、安いよ。 | オー。マッサン アリティー ヤッサンダラ。 |
| 5 | 山羊汁って、おいしくないの? | ピビジャヌ スイルイヤ マーサー ネーヌ? |
| 6 | ううん。おいしいけど、においが少なきつい。 | アーイ。マッサースンガ カザンドゥ キ*ツツアダル。 |
| 7 | でもヨモギを入れたら、おいしいから、食べてみて。 | ヤスンガ、ヤトゥフツヌ パー イリダラ マッサ ヤリキー ファイ ミリ。 |
| 8 | ほら、おいしいだろう? | ンデ、マッサンサ。 |
| 9 | おいしくないけれど、体に良さそうだね。 | マッサ ネーンスンガ ドゥーヘーヤ ジョートー パ*ツイ。 |
| 10 | 残さないで食べていたけど、おいしかったの? | ムール ハイ フタスンガ、マッサ ハ*タ? |
| 11 | うん、おいしかったから、全部食べたよ。 | オー。マッサ ハ*タ ヤリキー ムール ホーダダラ。 |
| 12 | どれが一番おいしかった? | {ノーン/ドウリ} ドゥ ヒツバン マッサ {ハ*タ/ハ*ッタ} ? |
| 13 | 魚の煮つけがおいしかった。 | イズィヌ ニシミヤ マッサ ハ*ッタ。 |

| | | |
|----|--------------------------------------|--|
| 14 | (残さずに食べたのをみて) へえ、おいしかったんだ。 | へー。マッサ ハ*ッタ? |
| 15 | あそこの食堂、昔はおいしかったのに、最近はおいしくない。 | ウマヌ ショクドー ムカスイヤ マーサ ハタスンガ チカグルヤ マッサ ネーヌ。 |
| 16 | そうそう、おいしかった。 | アシ アシ。マーサ ハ*ッタ。 |
| 17 | どのおかずがおいしくないの | ノーヌ カ*ティムヌンドウ マッサ ネーヌ? |
| 18 | キャベツ炒めがおいしくない。 | タマナ チャンプルンドウ マッサ ネーヌ。 |
| 19 | (自分でたべてみて) こんなにおいしいのに、あの子は何故残したのかなあ。 | カシ マッサルスンガ ウヌ ファーヤ ノー ンディ ヌクスイタカヤー。 |
| 20 | (残した料理を見て) 今日の夕ごはん、おいしくなかったの? | キューヌ ユンボン マッサ ネー ンタ? |
| 21 | 味噌汁はおいしかったけど、おかずがおいしくなかった。 | ミスィスィルイヤ マーサ ハッタ スンガ カティムヌヤ マッサ ネー ンタ。 |
| 22 | おいしくなかったから、はんぶん残した。 | マッサ ネー ンタドゥ ハンブン ヌクスイ タ? |
| 23 | どのおかずがおいしくなかったの? | ノーヌ カティムヌンドウ マッサ ネー ン タ? |
| 24 | ニンジンの炒め物がおいしくなかった。 | キリダイグンヌ チャンプルンドウ マッサ ネー ン タ。 |
| 25 | ヤギ汁はおいしくなかったけど、大根の煮つけはおいしかった。 | ピビジャ スィルイヤ マッサ ネー ン タ ス ン ガ ダイグン ンブシャ ーヤ マッサ ハ ッ タ。 |
| 26 | おいしくないから、誰もたべないだろう。 | マッサ ネー ン キー タル ーン {ハーヌ/ ハー ン} サ。 |
| 27 | おいしくないなら、食べなくてもいいよ。 | マッサ ネー ン タ ラ ファー ン ティ ン ミシ ヤ ン ダ ラ。 |
| 28 | おいしくないものでもラードを入れたらおいしくなるよ。 | マッサ ネー ン ムヌ ン オー ヌ アー イ リ ダ ラー、 マッサ ン ダ ラ。 |
| 29 | おいしくなかったヤギ汁がヨモギを入れたらおいしくなった。 | マッサ ネー ン タ ピビ ジャ スィル イ ン ヤ ト ウ フ ツ イ ヌ パー イ リ ダ ラー マッサ ナ ッ タ。 |
| 30 | 美味しくなければ、誰も食べないだろう。 | マッサ ネー ン タ ラ タ ロー ン ハー ン ダ ラ。 |

| | | |
|----|--------------------------------|---|
| 31 | おいしくないのに、全部食べるの？ | マッサ ネーンスンガ ムール フォーン？ |
| 32 | うん、ひもじいから、おいしくなくても食べるよ。 | ンー。ヤーサ ヤリキー マッサ ネーンキン ファイハー。 |
| 33 | もう少しおいしければ、もっと食べただろう。 | メー ンメーン マーサ ハタラ メーヘン ファイダ パツィ。 |
| 34 | おいしくなかったのに、食べたの？ | マッサ ネーンタスンガ フォーダ？ |
| 35 | ううん、おいしかったよ。私は好きだよ。 | アーイ。マッサー ハッタ。バナー マーサ ハッタダラ。 |
| 36 | もし おいしかったら、もっと食べたかもしれないよ。 | メーヘン マーサ ハタラ メシン フォーダ パツィ。 |
| 37 | どんなにおいしくても、食べすぎは良くない。 | ノーシ マッサ ハティン ファイスギヤ ナラヌ。 |
| 38 | おばあさんの味噌汁がおいしかったことを思い出した。 | アッパー ミス*スイルイヌ マッサ ハタクトウドウ {ウモーレサー (一人で思う時) /ウモーレハー (他人に言う時)}。 |
| 39 | たまには おいしい魚がたべたいな。 | ピトゥケンナーヤ マッサル イズィンドウ ファイチャール。 |
| 40 | 昨日と今日とどっちがひもじいの？ 昨日より今日はひもじいの？ | クィ*ヌートウ キューヤ ヒツィドゥ ヤーサ ハタ？ クィ*ヌイガ キューヤ ヤーサダル？ |
| 41 | 今日の方がひもじい。 | キューンドウ ヤーサダル。 |
| 42 | おまえもひもじいの？ | ワーン ヤーサダル？ |
| 43 | うん、ひもじくて死にそうだよ。 | ンー。ヤーサ ハティ スィンゴーサダル。 |
| 44 | おまえは、ひもじくないの？ | ワーヤ ヤーサ ネーヌ？ |
| 45 | うん、ひもじいけど、まだがまんできる。 | ンー。ヤーサスンガ メーダ ガマン ナルン。 |
| 46 | とてもひもじいから、何でも食べられる。 | デーズィ ヤーサン ヤリキー ノーン ン*コールン。 |
| 47 | おまえも、ひもじいだろう？ | ワーン ヤーサンサー？ |
| 48 | ひもじくないけれど、少しなら食べられるよ。 | ヤーサ ネーンスンガ ンメーマ ハタラ ファールンダラ。 |

| | | |
|----|------------------------------------|---|
| 49 | 残さないで食べていたけど、そんなにひもじかったの？ | ムール ファイ チケーッタスंगा ソートー ヤーサ ハタ？ |
| 50 | うん、ひもじかったから、全部食べたよ。 | オー。ヤーサ ハッタードゥ ムール ホーダ。 |
| 51 | どれくらい ひもじかったの？ | シカシコー ヤーサ ハッタ？ |
| 52 | 皿までたべてしまいそうなくらいひもじかった。 | クザラマディ ファイシコー ヤーサ ハッタ。 |
| 53 | (鍋のご飯がなくなっているのを見て) ほんとうに、ひもじかったんだ。 | フントゥ ヤーサドゥ ハタラ。 |
| 54 | そういえば、あのとき、ひもじかったねえ。 | アシアリバ ウンバショー ヤーサ ハタラ。 |
| 55 | あんなにひもじかったのに、もう腹いっぱいだ。 | アッシュェー ヤーサ ハタスंगा バダ イッパイ ナリタ。 |
| 56 | ごはん、食べてないでしょう？何故ひもじくないの？ | ンポン ファイ ウラヌサー。ノーデ ヤーサ ネーンバ？ |
| 57 | じつは、さっきお菓子を食べたから、ひもじくない。 | ジチェー メーマサキ カスイユ ファイリバ ヤーサ ネーヌ。(メーマサキは3分前程度。ンメーマサキは15分前程度) |
| 58 | ひもじいのに、腹をこわして、何も食べられない。 | ヤーサスंगा バダ ヤミティ ノーン ファーラス。 |
| 59 | (箸をつけていないのを見て) ひもじくなかったの？ | ヤーサ {ネーンタ/ネーヌ}？ |
| 60 | ひもじかったけど、お腹が痛かったの。 | ヤーサ ハタスंगा バダドゥ ヤミ フタ。 |
| 61 | ひもじくなかったの？ | ヤーサ ネーンタ？ |
| 62 | さっきお菓子を食べたから、ひもじくなかった。 | メーマ マインタナ カスイユ ファイリキー ヤーサ ネーンタ。 |
| 63 | ひもじくなかったから、はんぶん残した。 | ヤーサ ネーンタードゥ ハンブン ヌクスイタ。 |
| 64 | ひもじくはなかったけど、おいしそうだったから食べた。 | ヤーサ ネーンタスंगा マッサゴーサー ハタドゥ ホーダ。 |
| 65 | ひもじくないから、今は食べなくてもいい。 | ヤーサ ネーナーキー、メーマヤ ファーンティン ミシヤン。 |
| 66 | もしひもじくないなら、食べなくてもいいよ。 | ムスイ ヤーサ ネーンタラ ファーンティン ミシヤンダラ。 |

| | | |
|----|----------------------------|---------------------------------------|
| 67 | ひもじくない時でも食べた方がいいよ。 | ヤーサ ネーンティーン ファイスドゥ {ジョートー/マスィ} ダラ。 |
| 68 | ひもじくなければ、誰も食べないだろう。 | ヤーサ ネーンタラー タローン ファーヌ サー。 |
| 69 | ひもじくないのに、食べるの？ | ヤーサ ネーンスンガ フォーン？ |
| 70 | うん、ひもじくなくても、おいしそうだから 食べるよ。 | ンー。ヤーサ ネーンスンガ マッサゴーサ ヤリキー ファイハー。 |
| 71 | もう少しひもじければ、もっと食べただろう。 | メー ンメーン ヤーサ ハ*タラ メヘン ホーダサー。 |
| 72 | ひもじくなかったのに、食べたの？ | ヤーサ ネーンタスンガ フォーダ？ |
| 73 | ううん、ひもじかったよ。 | アーイ。ヤーサ ハッタダラ。 |
| 74 | もし ひもじかったら、これを食べてもいいよ。 | ムスイ ヤーサ ハッタラ、クリ ファイテ イン ミシャンダラ。 |
| 75 | どんなにひもじくても、腐ったのは食べるな。 | ノーシ ヤーサ ハタディン フサリ ムヌ ヤ ホーナ。 |
| 76 | 昔ひもじかった時のことを思い出した。 | ムカスイ ヤーサ ハタ クトゥユ ウムイ ダスイタ。 |
| 77 | ひもじいときは、何を食べてもおいしい。 | ヤーサル バシュヤ ノーン ファイティン マーサン。 |
| 78 | とてもひもじくて、仕事ができなかった。 | デーズィ ヤーサ アリティー、シグトゥ ナランタ。 |
| 79 | 唐辛子はとても辛い。 | クースヤ デーズィ カラサヌ。 |
| 80 | 唐辛子は辛いから、食べたくない。 | クースヤ カラサ ヤリキー ファイッチャ ネーヌ。 |
| 81 | 唐辛子は辛くても、おいしいから、好きだ。 | クースヤ カラサ アリティン マッサ ヤ リキー ジョートー。 |
| 82 | 唐辛子を入れすぎて、からかった。 | クースユ ドウグ イリ スギティ カラサ ハタ。 |
| 83 | 今日のおかずはあまりからくない。 | キューヌ カティムヌヤ ドウグ カラサ ネーヌ。 |
| 84 | 唐辛子を入れても辛くなかった | クースユ イリティン カラサ ネーンタ。 |
| 85 | 唐辛子を入れたら、辛くて食べられない。 | クースユ イリタラー、カーサ ハティ フ アーラス。 |

| | | |
|-----|----------------------------------|--------------------------------------|
| 86 | こんなにからいのに食べるの？ | {カシ/ウヌシコー} カーサスンガ ホーン？ |
| 87 | あそこの食堂のおかずは、昔はもっと辛かった。 | ウマヌ ショクドーナ カティムヌヤ ムカシエー メーヘン カラサ ハタ。 |
| 88 | ああ、辛い！ | アビー。カーサー。 |
| 89 | 唐辛子を入れたら辛くなった | クース イリダラー、カーサ {ナッタ/ナリター}。 |
| 90 | いつでもおみやげはうれしい。 | ヒツーン ツイトウヤ サニシヤン。 |
| 91 | ひさしぶりに孫に会えてうれしい。 | ピイトウケンナー マーヘ アイティー サニシヤン。 |
| 92 | 昨日は孫に会えてうれしかった。 | クイヌヤ マーヘ アイティー サニシヤハタ。 |
| 93 | ああ、とてもうれしいなあ。 | ハー、ツシーカ サニシヤン。 |
| 94 | うれしい知らせがとどいた。 | サニシヤン シラシンドウ トウドウイタ。 |
| 95 | 太郎の車は黒い。 | タローヌ クルマヌ イルヤ フガサ。 |
| 96 | (太郎の買った車を初めてみて) へえ、太郎の車って黒かったんだ。 | へー。タローヌ クルマヤ フガイルドゥハタ？ |
| 97 | (太郎の車の色を思い出して) そうそう、太郎の車は黒かった。 | アシ アシ。 タローヌ クルマヤ フガイルハタ。 |
| 98 | うわあ。黒い！ | ハー。 フガイル。 |
| 99 | おとうさんの髪は黒い。 | アッチャーヌ ハカマツイヤ フガイル。 |
| 100 | わかいころはおじいさんの髪も黒かった。 | バガサル ジブンヤ アッチャーヌ ハカマツイヌ フガサ ハタ。 |
| 101 | 黒い車が止まっている。 | フガイルヌ クルマンドゥ トウマリル。 |
| 102 | おじいさんとおばあさんは、どっちが年上だったの？ | アッチャートゥ アッパーヤ タードゥ トゥスイ ウイ (ハッタ)？ |
| 103 | おじいさんよりおばあさんが5歳年上だった。 | アッチャーイガ アッパーンドゥ ゴサイ トゥスイ ウイ ハタ。 |

| | | |
|-----|-----------------------------------|---|
| 104 | (おばあさんの年齢を聞いて) へえ、おばあさんが年上だったんだ。 | へー。アッパードウ トウスイ ウイ ハッタ? |
| 105 | おばあさんが年上だったことは、家族しか知らなかったなあ。 | アッパードウ トウスイ ウイ ハッタ クトウヤ ヤーニンジュシカ バガランタ。 |
| 106 | おばあさんは年上だったのに、おじいさんにやさしかったよ。 | アッパーヤ トウスイ ウイ ハッタスンガ アッチャーヘーヤ ジョートーハタ。(おばあさんから夫なのでアッチャーを用いる) |
| 107 | おばあさんは年上なのに、威張らなかった。 | アッパーヤ トウスイ ウイスンガ イバラナ ハタ。 |
| 108 | おばあさんは、相手が年上でも年下でも、区別しなかった。 | アッパーヤ アイティンドウ トウスイ ウイ トウスイスイタヘーン ドウグ サベツ サーンタ。 |
| 109 | おじいさんは年上じゃなかったのに、おばあさんは敬語を使っていたの? | アッチャーヤ トウスイ ウイ ネーンタス ンガ アッパーヤ アガミ クトウバドゥ ツカイ フタ? |
| 110 | うん、年上じゃなくても、おじいさんには敬語を使っていた。 | ンー。トウスイ ウイ ネーンティン アッ チャーヘーヤ アガミ クトウバ ツカイ フタ。 |
| 111 | あなたの兄さんと姉さんは、どっちが年上なの? | ワー ビギルイトウ ブナルイヤ タードウ {トウスイ ウイ/ヒッチャ}? |
| 112 | 姉さんが兄さんより三つ年上だよ。 | ブナルインドウ ビギルイイガ ミーツイ トウスイ ウイダラ。 |
| 113 | 兄さんが年上だったの? | ビギルインドウ ヒッチャ ハタ? |
| 114 | ううん、年上じゃなかった。 | アーイ。{ヒッチャー ネーンタ/トウスイ ウイヤ アランタ}。 |
| 115 | あなたが年上なの? | ワードウ {ヒッチャ/トウスイ ウイ}? |
| 116 | ううん、年上じゃない。 | アーイ。{ヒッチャー/トウスイ ウイ (ヤ)} アラヌ。 |
| 117 | そうそう、太郎が俺より年上だった。 | アシ アシ。タロードウ バヌイガ ト ウスイ ウイ ハタ。 |
| 118 | (独り言のように) 太郎と花子はどっちが年上かなあ。 | タロートウ ハナコヤ タードウ トウスイ ウイカヤ。 |
| 119 | 花子が太郎より年上だろう(年上のはずだ)。 | ハナコンドウ タローイガ トウスイ ウイ パツィ*。 |

| | | |
|-----|--|---|
| 120 | 花子が太郎より年上だっただろう (年上だったはず)。 | ハナコンドウ タローイガ トウスイ ウイ ハッタ パツィ*ドー。 |
| 121 | (年上じゃないとおもっていたけど) 年上だったのかな。 | トウスイ ウイ ハッタカヤ。 |
| 122 | 私より年上の甥がいる。 | バヌイガ トウスイ ウイヌ ブイファード ウ ウル。 |
| 123 | 佐藤さんは、年上だから、とても 威張っている。 | サトーサンヤ トウスイ ウイ ヤリキー ソートー イバリドウル。 |
| 124 | あの人が年上じゃなければ、だれ も言うことを聞かない。 | ウヌ プイトウドウ トウスイ ウイ ネー ンタラ タローン アン クトウヤ スイカ ヌ。 |
| 125 | 年上じゃなかったから、言うこと を聞かなかった。 | トウスイ ウイ ネーナータ ヤリキー アン クトウユ スカンタ。 |
| 126 | あいつが年上じゃないなら、敬語 を使わなくてもいい? | ウヌ プイトウヤ トウスイ ウイ ネーン キー アガミ クトウバヤ ツカンティ ミ シャーン。 |
| 127 | (写真を見ながら) このなかで誰 が年上じゃないの? | クン ナカナー タードウ トウスイ ウイ ヤ アラス? |
| 128 | 阿部さん、年上じゃなかったの? | アベサン、トウスイ ウイ アランタ? |
| 129 | うん、年上じゃないのに、いつも 威張っていた。 | ンー。 トウスイ ウイ ネーンスンガ ヒ ツン イバリ フタ。 |
| 130 | 阿部さんが年上じゃなかったこと はみんな知っていたよ。 | アベサンドウ トウスイ ウイ ネー ンタ クトウヤ ムール バガリドウ フタ。 |
| 131 | 年上じゃないから、誰も言うこと を聞かない。 | トウスイ ウイ ネーナークー タローン アン クトウユ スカヌ。 |
| 132 | もし年上だったら、もっと威張っ ていたかもしれない。 | ムスイ トウスイ ウイ ハタラ、メーヘン イバリ フタ パツィ*ドー。 |
| 133 | (写真を見ながら) このなかであ なたより年上じゃない人は誰と誰 (あるいは誰々)? | クン ナカナ ワーイガ トウスイ ウイ ネーン プイトー タルトウ タル? |
| 134 | 年上じゃない人は、この人だよ。 | トウスイ ウイ ネーン {プイトウヤ/プイ トー} クヌ プイトウ (ダラ)。 |
| 135 | この人、年上じゃないの? | クヌ {プイトウヤ/プイトー} トウスイ ウイ アラス? |
| 136 | うん、年上じゃないが、いい人だ ったよ。 | ンー。トウスイ ウイ ネーンスンガ ジョ ートー プイトウ ハッタダラ。 |

| | | |
|-----|---------------------------------|---|
| 137 | 年上なら年上らしくしなさい。 | トウスイ ウイ ハタラ トウスイ ウイシ コー シ。 |
| 138 | ひいおじいさんとひいおばあさんは、どっちが年上じゃなかったの？ | ウフ アッチェートウ ウフアッパーヤ タ ードウ トウスイ ウイ アランタ？ |

(資料3)

| | | |
|----|----------------------------|---|
| 1 | 熱はないけど、頭がいたい。 | ニツイヤ ネーンスンガ ツブルンドウ ヤ ム。 |
| 2 | 蚊にくわれたところがかゆい。 | ガッツァンヘ ファーリダ ドウグンドウ ブ ーシャヌ。 |
| 3 | けむりがたくさん出てけむたい。 | キ*ムルヌ タカーニ ンディティ キ*ムッサ イ。 |
| 4 | なんだか胸が苦しい。 | ノーシンディ バガランスンガ ンニドウ オ ーマサダル。 |
| 5 | わきの下をさわられると、くすぐ ったい。 | バギンタユ カツミラリ {タラ/ットウ} {グジュグラサダル/グジュグラサイ}。 |
| 6 | 朝から体がだるい。 | ストウムディハラ ドウーンドウ オーマサダ ル。 |
| 7 | ゆうべ、夜更かしをして、今日は ねむい。 | ユービ ピトウユ ヒジュー フキディリ キ ューヤ {ヌフツァダル/ヌフツァヌ/ヌフ ツァ}。 |
| 8 | 朝から何も食べていないので、と てもひもじい。 | ストウムディハラ ノーン ハイ ウランバ ヤーサヌ。 |
| 9 | 雲が無くて、太陽がまぶしい。 | クムン ネーンバ ティッダンドウ ピキカ サ。 |
| 10 | 近ごろ仕事がいそがしい。 | チカグルンセー シグトウンドウ パンタサ ヌ。 |
| 11 | 油をこぼしたので、床がすべっこ い。 | アーユ クブシェーリキー ナブラサダル。 |
| 12 | 食べ物よりもお金が欲しい。 | ファイムヌイガ ジンドウ プサー。 |
| 13 | この集落には元気な年寄りが多 い。 | クヌ ブラクナーヤ ガンジュー ウイ プィ トウンドウ フーサヌ。 |

| | | |
|-----|--|--|
| 14 | 女より男が少ない。 | ミットウンイガ ビギドウンヤ ヒガサヌ。 |
| 15 | あれ、このバナナ、赤いよ。めずらしいね。変わっているね。 | ビー。クヌ バソヌ ナルイ ハカサヌ。ミズラサー。カーリソー。 |
| 16 | フライパンは汁鍋より浅い。 | ティーナビヤ スイ*ルイ ナビイガ ハササヌ。 |
| 17 | 家族が多いから、深い汁鍋を使っている。 | ヤーニンジュヌ フーサ ヤリキー フカ スイ*ルイ ナビ ドゥ ツカイドウル。 |
| 18 | 買ったばかりだから、まだ新しい。 | コーダ チャーキ ヤリキー、メーダ シンピン。 |
| 19 | あなたのひいおじいさんが建てた家はもう古い。ひいおじいさんが建てた家は古い。 | ピサ マギ フシュマイヌ タトーッタ ヤーヤ フルサヌ。(話し手は他人) / マギ アッチェンドゥ タトーッタ ヤーヤ メー フルカー。(話し手は自分) |
| 20 | この板は重くて、厚い。 | クヌ ヒタヤ ヌッサヌ、アツツ*サ。 |
| 21 | もう少し薄い板を持ってきて。 | メー ンメーン ピッサ (ル) ヒタヤ トゥリ キー ミリー。 |
| 22 | この網は目が粗い。小魚が逃げたしまう。 | クヌ アンヤ ミーンドゥ アラサ。グマ イズイヤ {ピンギ パルン/ピンギドゥ パル}。 |
| 23 | この篩 (ふるい) は目が細かい。 | クヌ フルイヤ ミーンドゥ ク*マサー。 |
| 24 | 花はどれも美しい。 | パナヤ ムール カイシャー。 |
| 25 | 泥がついてきたない。 | ドゥルンドゥ ダッカーリ ヤニシャー。 |
| 26 | 映画にでてくるか化け物は、みにくい顔をしている。 | エーガヘー ンディル マツムンヤ フスマシー ツラドゥ {シードゥル/シール}。 |
| 27 | 冬瓜はかぼちゃよりおおきい。 | スブルヤ カブチャイガ マイシャヌ。 |
| 27' | こっちはおおきい (同じ物を比較するとき)。 | クリドゥ マギー。 |
| 28 | レタスはキャベツより小さい。 | レタスヤ タマナイガ グマサヌ。 |

| | | |
|----|--------------------------------------|--|
| 29 | おとし買った上着は窮屈だ。 さいきん太ったから、この上着は窮屈だ。 | ミーツンテーヤー コーダ クインヤ イバサヌ。サイキンシエー パンタリキー ク*ヌ クインヤ イバサヌ。 |
| 30 | いま住んでいる家は庭が広い。 | メーマ スミル ヤーヤ ゴーヤ マイシャー。 |
| 31 | 以前は狭い家に住んでいた。 | マインターヤ イバサル ヤーナ {スミター/スミ フタ}。 |
| 32 | エベレスト山は富士山より高い。 | エベレストヤ フジサンイガ {タカサー/マイシャヌ}。 |
| 33 | 阿蘇山は富士山より低い。 | アソサンヤ フジサンイガ {グマサヌ/ピッシャル}。 |
| 34 | 役場までならとても近い。すぐ隣だ。 | ヤクバマディ ハタラ、スグ ツィカサヌ。スグ トゥナリ。 |
| 35 | 家から学校まではとおい。 | ヤーハラ ガッコーマディヤ トゥーサヌ。 |
| 36 | 北の湖は貴乃花より強い。 | キタヌウミヤ タカヌハナイガ ツーサヌ。 |
| 37 | 貴乃花は北の湖より弱い。 | タカヌハナヤ キタヌウミイガ ヨーサヌ。 |
| 38 | 家の竹竿は、太くて長い。 | ヤーヌ ソーヤ マルサ アリティ ナーサヌ。 |
| 39 | この鎌の柄は細くてみじかい。 | クヌ ガクィヌ ボーヤ ピサー アリティ ミツィカサ。 |
| 40 | 次郎は仕事のがのろい。 | ジローヤ シグトゥヤ ダラサヌ。 |
| 41 | 太郎は走るのが早い。今日は早く起きた。 | タローヤ アンガルツソー パイシャ。キューヤ パイシャ フキダ。 |
| 42 | 次郎は歩くのがおそい。寝るのが遅かった。 | ジローヤ アルクソー ヌッサヌ。ヌフツソー ヌッサ ハタ。 |
| 43 | この縄は太い。 | クヌ ナーヤ マルサヌ。 |
| 44 | もう少し細い縄を持ってこい。 | メー ンメーン ピッサル ナーユ トウリクー。 |
| 45 | 君の帯のしめ方はゆるい。もっときつく締めろ。 | ワー ウプィヌ マラキ カタヤ ヌッサヌ。メーヘン ガンティ {マラキ/シミリ}。 |

| | | |
|----|----------------------|----------------------------------|
| 46 | 若いうちが花だ。若いときは二度と来ない。 | バガサル ズィブンドゥ パナ。バガサル バシュヤ メー クーヌ。 |
| 47 | 孫の太郎はまだ幼い。 | マーヌ タローヤ ツィナサヌ。 |
| 48 | 今日は風も強くて、波も荒い。 | キューヤ カジヌ ツーサー。イナン アーリドゥル。 |